



3R

情報
発信

活動
支援

学習
体験

平成26年度のリフォーム、パッチワーク教室の参加者の作品
平成27年度は4月から開始します。4ページを参照ください。

環境と私たちのかわり

私たちが生活を送る中で、環境へ負荷を与えてしまうことと環境を守ることについて身近なことから考えてみましょう。

暮らしと環境問題とのつながり

【衣】 私たちは衣類を着て生活します。汚れると洗濯をしますが、そのときに上水という資源を使用し、下水という形で環境に負荷を与えてしまいます。

洗濯には、お風呂の残り湯を使うなどの節水をするだけでも環境に優しい行動につながります。

【食】 世界では食べ物が不足している国があります。一方で私たちの国、日本ではまだ食べられるものが大量に廃棄される「食品ロス」という問題があります。その大半は、家庭から捨てられています。

食品ロスを減らすためには、買い物をするときに無駄なものを買わないことやエコクッキングを心がけるようにしましょう。どうしても出てしまう生ごみは、コンポスト（堆肥）にして活用できます。

【住】 私たちは快適な生活をするために家電製品や冷暖房などに電力やガスなど多大なエネルギーを消費しています。また、車を使うことでガソリンを使い温室効果ガス排出の増加につながります。エネルギー消費を減らすためには、こまめに電気を消すことや冬場は空調温度を少し低めに設定するなど心がけましょう。移動に関しても公共交通機関を利用することや近場の移動は、歩いたり、自転車に乗ったりすると環境にも優しく健康にもつながります。

私たちは、持続可能な社会を築くために「循環型社会」を目指すことが大切です。その行動の一つに“3R”といった行動があり、その3つの内の2R（リデュース・リユース）を優先して実践することが、とても環境に優しい行動へとつながります。

このように私たちが環境に配慮した行動をとることは環境問題解決の一步につながります。

